

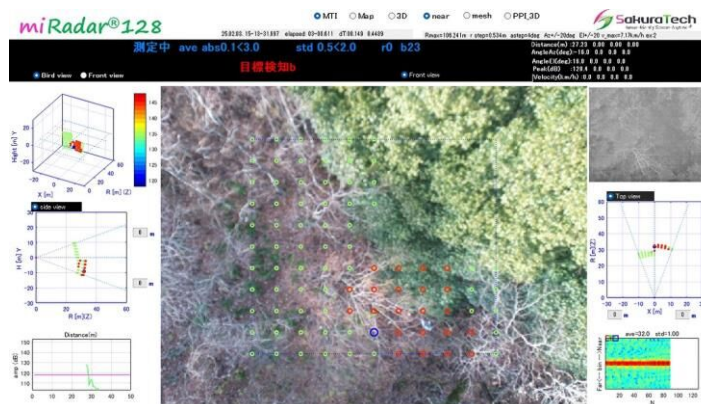
case 08

協栄産業株式会社

プロジェクト名	ドローンを活用した山岳遭難者支援システムの実証実験	
企業の所在地	東京都品川区東品川四丁目12番6号品川シーサイドキャナルタワー	
企業の事業概要	半導体・FA事業やシステム開発事業を中心としたソリューションの提供	
実現しようとしているサービス	想定顧客	- 自治体、消防、警察 - 山岳捜索隊、損保会社、登山・アウトドア専門店
	想定顧客が抱える課題	- 山岳捜索に要する人材の不足 - 崖や沢などに立ち入れず、人による捜索が困難 - 霧発生時に、人による目視での捜索が困難
	サービスが提供する価値	- 人が立ち入れない崖や沢において、安全かつ効率的な捜索ができる - 光学カメラ、赤外線カメラにより、高精度で遭難者を検知できる - 将来的には、MIMOLレーダーの搭載による高い精度での検知・捜索や、自動航行技術を用いることによる効率的な捜索ができるようになる
開発・実証プロジェクトで取り組んだ内容、県内企業との連携	- 実証期間内に実証実験を3回行い、下記の点を検証 ＜ドローンによる遭難者検知精度の検証＞ - 光学カメラ、赤外線カメラ、MIMOLレーダーの基本性能の確認 - 高度別の検出精度の検証 - 実際の捜索活動を想定した運用方法での、遭難者発見可否の検証 - 以上の検証から、光学カメラや赤外線カメラで検知が難しい霧や沢などにおいては、MIMOLレーダーによる検知に優位性があること確認 ＜空間IDを用いた自動航行精度の検証＞ - 平地／高低差のある地形での自動航行精度の検証 - 高高度による検知範囲の検証 - 以上の検証から、位置情報の誤差は小さいことや、高高度からの検出率の影響も小さいことを確認 - 県内企業と連携し、MIMOLレーダーによる取得データを解析した。	



ユニット型ドローンYOROII 4S1200F



光学カメラ・赤外線カメラ・MIMOLレーダーによる検知

<問い合わせ先>

協栄産業株式会社 ビジネスイノベーション室（担当：佐野）

WEB : <https://www.kyoei.co.jp/>